
「オンデマンド無痛分娩における導入時の内診所見が経膈分娩の成功率に与える影響 についての後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診察記録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと
行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用する
ことに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結
構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切
ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年10月12日から2023年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、無
痛分娩を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

一般的に無痛分娩は帝王切開の確率をあげないと言われていますが、医療現場では無痛分娩での
分娩停止をしばしば経験します。無痛分娩で分娩の進行具合が遅くなり、子宮口の開大所見がどれ
くらいで導入すれば経膈分娩の可能性が上がるかを検討したものです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年12月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

陣痛発来時、無痛分娩導入時の子宮口開大具合と無痛分娩導入までの時間

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者
である清水 元治が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患
者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

カルテ記載より確認します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター

研究責任者：総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 清水 元治

研究実施者：総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 中村 永信

総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 宮澤 祐樹

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

5. 試料・情報が将来の研究のために用いられる可能性

本研究で収集した情報を本研究に関連した将来計画される研究に利用する可能性があります。二次利用する際には研究対象者がどの機関まで将来利用されるか判断できる程度に明確に提示します。なお本研究で収集した試料・情報を二次利用する場合、改めて研究計画書を作成し、研究倫理委員会の審査を経るものとします。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・研究計画や研究実施に関する手続きの相談、研究により得られた結果等に関する相談、以下の連絡先までご連絡ください。

総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 清水 元治

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：moto829@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：オンデマンド無痛分娩における導入時の内診所見が経膈分娩の成功率に与える影響についての後方視的研究

○研究責任者：総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 清水 元治